

ノートパソコンご購入のお願い

日本薬科大学 学部長 松田佳和

日本薬科大学では情報教育の一環として、1年次よりパソコンを利用した講義および実習を行っています。4年間又は6年間の充実した教育の為に学生の皆様にはノートパソコンの購入をお願いしております。以下に本学の推奨するノートパソコンのスペックに関して記載いたします。ご購入の参考になれば幸いです。

・ Windows パソコン

OS: Microsoft Windows 10 以降の Home または Pro
CPU: Intel® Core i5 以上 (第 10 世代以降が望ましい)
メモリ : 8 GB 以上
ストレージ : SSD 256 GB 以上
重量 : 1.5 kg 以下
Office: **不要**

・ Apple MacBook Air、MacBook Pro

OS: MacOS 11.6 Big Sur 以降
CPU: Intel® Core i5 以上または Apple M1, M1 Pro, M1 Max
メモリ : 16 GB 以上^{※1}
ストレージ : SSD 256 GB 以上
重量 : 1.5 kg 以下
Office: **不要**

※1 メモリの最小構成は 8 GB となっておりますが、Mac の場合 **16 GB 以上あると処理が速く安定して動作する**為、このスペックを推奨しています。

☆ 講義資料は pdf で提供されますので、**iPad 等のタブレットをパソコンと併用することを推奨**します。(簡単に pdf ファイルに書き込み等ができるため)

☆ PC に給電可能なモバイルバッテリーをご用意ください。

☆ 医療ビジネス薬科学科の Microsoft Office Specialist (MOS) 養成に関連する講座等は Microsoft Windows 版の Office を使用します。

推奨スペック選定のポイント

(a) CPU : 仕事をする人

CPU はパソコン上の様々な処理を行うところです。CPU にも性能によって様々なものがあります。基本的に、Atom < Celron < Core m, Core i3, < Core i5 < Core i7 < Core i9 の順に性能が高くなります。同じ CPU でも世代によって性能差があります。現在であれば、第 10 世代 Core i5 以降の CPU を推奨しています。

(b) メモリ : 仕事をするための机

メモリはパソコン上で何らかの処理をする際の机です。どんなに高性能な CPU でもあってもメモリが不十分だとその能力を発揮することができません。
→ 狭い机での作業は、様々な資料を広げることが出来ず作業効率が悪くなることと同じです。

市販のパソコンの多くが 4~8 GB のメモリを積んでいます。課題の作成・資料の閲覧・インターネットでの情報收拾などを同時に行うには、8 GB 以上のもの(Mac の場合は 16 GB 以上)を選ぶと安心です。

(c) ストレージ容量(保存領域) : データを保存するところ (本棚や引出しに相当)

ストレージは大きく HDD と SSD の 2 つがあり、前者は大容量(1 TB)でも安価だが振動に弱く持ち運びに不向き、後者は小容量(128 ~ 256 GB)で高価だが振動に強く持ち運びに適していることが強みです。通学や実習など移動の多い学生の場合、振動に強い SSD の方が向いています。

(d) 重さ

毎日の通学に邪魔にならない重さを選ぶことが重要です。1.5 kg 以下であれば持ち運びに苦労しないと考えています。

(e) Microsoft Office アプリケーションの有無

Word, Excel, Power Point などの Microsoft Office, その他講義で使用するソフトウェアは在学期間中無料で利用できます。パソコンを購入する際は Microsoft Office の入っていない物を選んでください。

また、Windows パソコンの場合には、アプリケーションがインストールされているだけでパソコンのリソースを無駄に消費しますので、余分なアプリケーションがインストールされていないモデルがお勧めです。

皆様が購入される PC は、これから 4 年間又は 6 年間苦楽を共にする「大切な相棒」です。何よりも大切なことは、性能やデザインなど、「愛情を持って使いたい！」と思える PC を購入し活用することです。

学内でのパソコン利用に関する詳細はセットアップ講習会でお話ししますので、必ず参加してください。

それでは、皆様と皆様ご自慢の相棒にお会いする日を楽しみにしております。

Q & A

Q. 安価なパソコン(1~2万円代)ではダメですか？

A. 必要最低限のこと(文章を書く, ネットを使うなど)をするだけであれば問題ありません。そういったパソコンはCPU性能の低いものや、メモリあるいはストレージ容量がとても小さいものが多いので、**4~6年間の使用に耐えられない**と考えています。

Q. 結局、値段の違いって何の違いですか？

A. 簡単に一言で言うならばトラブル無く快適に使うための投資です。高性能なPCほど処理が速いため、自分の要求に対して素早く動いてくれます。自分の想定する(我慢できる)スピードで作業をすることが出来ないと、自分のペースで作業を進めることが出来ませんので、当然イライラストレスが溜まります。パソコンは日常的に使うものなので、**日々ストレスなく作業する上で必要な投資として、適切な性能のものを選ぶことが重要**です。また、「パソコン初心者なので高性能なパソコンは不要」ということをしばしば耳にしますが、これは**大きな間違い**です。パソコン初心者こそ、高性能なパソコンを使うべきです。理由は高性能パソコンは処理能力が高く、トラブルを起こしにくいからです。

Q. ウィルス対策ソフトは必要ですか？

A. **大学のネットワークを利用する場合、何かしらのウィルス対策がされていることが条件になります**。Windows でも Mac でも何らかのウィルス対策アプリケーションをインストールして下さい。もし、既に自宅にパソコンがあり、ウィルス対策アプリケーションをインストールしてる場合、登録可能台数が余って入れればそのウィルス対策アプリケーションが使えますので、購入の前に自宅のウィルス対策アプリケーションを確認しておくとうまいでしょう。ちなみに、Windows 10 では Windows ディフェンダーと言うウィルス対策機能があります。

Q. Mac ではダメですか？

A. **全く問題ありません**。ただし、同じアプリケーション(例えば Word など)でも、Windows 版と Mac 版では細かいところで差異があります。(使用上問題ありません)

Q. タブレットではダメですか？

A. タブレットの多くがiPadまたはAndroidとなっています。これらの端末にMicrosoft Office をインストールすることは可能ですが、化学構造を描くアプリケーションなどの大学が提供する専門的なアプリケーションを使用することが出来ません。パソコンの購入をお願いします。

なお、パソコンとタブレットの**併用(タブレットをノートとして使う)**はとても**便利なこと**から、強く推奨します。

- Q. 既にPCを持っている場合でも新たに購入する必要がありますか？
- A. OS等のサポートが切れておらず、機能的に問題なければ、新たに購入する必要はありません。ただし、在学期間中のネットワークやOfficeの利用には端末の登録が必要です。セットアップ講習会には必ず参加してください。
- Q. 大学でPC購入の斡旋はしていますか？
- A. PC購入の斡旋はしていません。本学はBYOD(Bring Your Own Device)を推進しており、「自分自身で自分自身のPCを選ぶ」ことが大切と考えております。
- Q. パソコンの調子が悪い時は？
- A. 本体の調子が悪い時は、そのPCのメーカーまたは購入した家電量販店にお問い合わせください。大学から配布されたアプリケーションやメール等に関するお問合せは、入学後に問合せ先をご案内いたします。
- Q. 大学内にパソコンはありますか？
- A. 情報演習室・図書館などのパソコンが利用できます。しかし、学生一人あたり1台を保障しているものではありません。

お問い合わせ

日本薬科大学 アドミッションオフィス

TEL:048-721-6651 FAX:048-721-6651

e-mail:nyushi@nichiyaku.ac.jp